

Aroute 東京の北側エリア

- A1** 東京国立近代美術館【竹橋】
A ⇄ Bルート乗り換え可
- A2** ミヅマアートギャラリー【飯田橋】
- A3** ウェイティングルーム【江戸川橋】
- A4** タリオンギャラリー【目白】
- A5** フィギュア/
ミサコ&ローゼン【大塚】
- A6** フォーシックスフォーナイン【巣鴨】
- A7** カヨコユウキ【駒込】
- A8** スカイザバスハウス【根津】

Broute 皇居から東側のエリア

- B1** 東京都現代美術館【清澄白河】
- B2** ハギワラプロジェクト【清澄白河】
- B3** B ⇄ C ⇄ Gルート乗り換え地点
(日本橋交差点付近)
- B4** AWT VIDEO(三井住友銀行東館)【大手町】
B ⇄ Gルート乗り換え可
- B5** 東京国立近代美術館【竹橋】
※A ⇄ Bルート乗り換え可
- B6** タグチファインアート【日本橋】
- B7** 無人島プロダクション【錦糸町】
- B8** カナカワニシギャラリー【清澄白河】

Croute 銀座エリアから天王洲まで

- C1** AWT FOCUS (大倉集古館)【虎ノ門】
C ⇄ D ⇄ Gルート乗り換え可
- C2** コウサクカネチカ【天王洲】
- C3** 資生堂ギャラリー/
東京画廊+BTAP【銀座】
- C4** B ⇄ C ⇄ Gルート乗り換え地点
(日本橋交差点付近)
- C5** アーティゾン美術館【京橋】
- C6** ギャラリー小柳【銀座】
- C7** 銀座メゾンエルメス フォーラム【銀座】

Droute 六本木・麻布エリア中心

- D1** 国立新美術館/
日動コンテンポラリーアート【乃木坂】
- D2** 東京都庭園美術館【目黒】
D ⇄ Eルート乗り換え可
- D3** カイカイキキギャラリー【広尾】
- D4** ミサシギャラリー【広尾】
- D5** タケニナガワ【麻布十番】
- D6** PGI【麻布十番】
- D7** AWT FOCUS (大倉集古館)【虎ノ門】
C ⇄ D ⇄ Gルート乗り換え可
- D8** 森美術館【六本木】

Eroute 恵比寿・目黒エリアから表参道まで

- E1** 東京都庭園美術館【目黒】
D ⇄ Eルート乗り換え可
- E2** 東京都写真美術館【恵比寿】
- E3** MEM【恵比寿】
- E4** スノーコンテンポラリー【六本木】
- E5** AWT BAR【表参道】
E ⇄ F ⇄ Gルート乗り換え可
- E6** ポエティック・スケープ【中目黒】
- E7** リーサヤ【不動前】

Froute 表参道・原宿エリアから新宿方面へ

- F1** 東京オペラシティアートギャラリー【初台】
- F2** ギャラリー38【原宿】
- F3** ブラム&ポー【原宿】
- F4** ルイナール(バンクギャラリー)【表参道】
- F5** AWT BAR【表参道】
E ⇄ F ⇄ Gルート乗り換え可
- F6** ファーガス・マカフリー【表参道】
- F7** ワタリウム美術館/
マホクボタギャラリー【原宿】
- F8** ナンヅカアンダーグラウンド【原宿】
- F9** ケンナカハシ【新宿】

Groute 3つのAWT特設会場と六本木エリアをつなぐ新ルート

- G1** AWT BAR E ⇄ F ⇄ Gルート乗り換え可【表参道】
- G2** オオタファインアーツ / コタロウヌカガ / 小山登美夫ギャラリー / シュウゴアーツ / タカ・イシイギャラリー / タロウナス / ペロタン東京 / ユタカキクタケギャラリー / ユミコチバアソシエイツ【六本木】
- G3** AWT FOCUS (大倉集古館) C ⇄ D ⇄ Gルート乗り換え可【虎ノ門】
- G4** AWT VIDEO (三井住友銀行東館) B ⇄ Gルート乗り換え可【大手町】
- G5** B ⇄ C ⇄ Gルート乗り換え地点 (日本橋交差点付近)

※バスルートは変更になる場合があります。
※バスルートの詳細は公式ホームページで公開しています。

■ 世界を代表するキュレーターが登場！キュレーターシンポジウムを初開催

多様な文化的背景を持ち、様々な世代を代表するキュレーターを招聘。どなたでも無料で聴講できるプログラムです。

「エキシビジョン・エクリチュール：展覧会はいかに語り得るか」

出演：アダム・シムジック（アムステルダム市立美術館キュレーター）
 チユス・マルティネス（北西スイス応用科学芸術大学附属バーゼル美術インスティテュートディレクター）
 保坂健二郎（滋賀県立美術館ディレクター（館長））
 キャロル・インホワ・ルー（盧迎華）（北京インサイドアウト美術館ディレクター）

※英日同時通訳

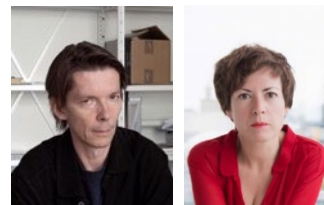
日時：令和5年11月2日（木曜）10時00分から12時30分

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎ホール

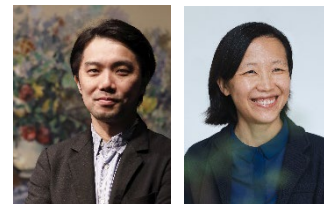
定員：800名

申込：8月29日（火曜）より公式HPで受付開始（事前申込・先着順・参加無料）

※シンポジウム後に、キュレーターなどを対象にラウンドテーブルを開催します。
詳細はアートウィーク東京公式HPを御確認ください。



アダム・シムジック チユス・マルティネス
©Melanie Hofmann, Zurich. Photo by Nici Jost.



保坂 健二郎 盧迎華
Photo by Keizo Kioku. Photo by Ohno Ryusuke.

■ 現代アートへの理解と学びを深掘り。全3回のオンライントークを無料配信

2021年から続くオンライントーク。日本の美術史や文化史の中で見過ごされてきた潮流や再検証すべき言説を取り上げます。

第1回：「写真家・美術家は何を見たか：日本の写真における実験 1968-1979」

出演：中森康文（アジア・ソサエティ美術館館長）

配信日：9月29日（金曜）（予定）

配信URL：<https://www.artweektokyo.com/talks/>（事前登録不要・視聴無料）

※全3回の配信予定。第2回、第3回の詳細は別紙プレスリリース参照

■ アートに親しみを。子ども・若者向けの鑑賞ガイドツアーなどを新たに企画！

特別展覧会「AWT FOCUS」（大倉集古館）の関連プログラムとして、
子ども・若者を対象に、展示解説やワークショップを通じて現代アートに
親しむ鑑賞ガイドツアーを新たに企画。

本ガイドツアーは、「AWT FOCUS」アーティストディレクター
の保坂健二郎とNPO法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト]代
表の塩見有子が企画・監修をつとめ、作品を観るうえでのヒントをきっか
けに自由な発想や想像力を引き出し、美術鑑賞の楽しみ方を見つけること
を目指します。



日時：11月3日（金曜）～5日（日曜）

会場：大倉集古館（港区 虎ノ門）

対象：6歳から9歳の部、10歳から12歳の部、13歳から18歳の部

定員：各回10名程度（計80名程度）（予定）

申込：9月末頃から公式HPで受付開始予定（事前申込・抽選・参加無料）

※このほか、アートコレクターを目指す方向けに現代アートコレクションの魅力や作品管理の
方法などが学べるガイドツアーの企画や、小さなお子様連れの方でも安心してゆっくりと
アート鑑賞ができるよう大倉集古館内に託児所を特設します。（詳細はアートウィーク東京公式HPで順次公開）

<アートウィーク東京 モビールプロジェクト>

会 期：令和5年11月2日(木曜)～5日(日曜) 10時00分から18時00分まで

主 催：東京都/アートウィーク東京モビールプロジェクト実行委員会

概 要：都内のギャラリーや美術館等が参加し、東京の現代アートシーンを国内外に発信するイベント「アートウィーク東京」。東京都は本イベントが気軽に現代アートに触れるきっかけとなるよう、会期中に美術館やギャラリーなどを巡る無料シャトルバス《AWT BUS》の運行など多彩なアートアクティビティを「アートウィーク東京 モビールプロジェクト」として実施します。